

## 令和元年台風19号について

今月12日から13日にかけて日本列島を襲った巨大台風19号は、各地で甚大な被害をもたらし、本市も被災いたしました。

今回の台風は、これまで経験したことがないような広範囲に及ぶ猛烈な降雨により、東海から関東甲信越、東北の各地の河川の氾濫を引き起こしました。

本市におきましても、信濃川が氾濫危険水位を超え、過去最高の水位に達するという異常な事態に至り、その支流のバックウォーター現象により住宅や道路、農地などに浸水被害が発生いたしました。

市といたしましては、まずは被災された方々の支援と被災箇所の復旧に全力で取り組んでまいります。

また、今回の災害を受け、信濃川や支流の中小河川の氾濫を未然に防ぐ取り組みや、万一の大規模災害が発生することも想定した対策の強化を図ります。

### 今後の防災対策の強化方針

#### 1 河川管理者（国・県）への要望

- ・大河津分水路河口部の拡幅改修の着実な推進
- ・堤防強化などの改修促進
- ・バックウォーター現象に対応した治水対策
- ・浄土川の水位計の早期設置

#### 2 情報発信の強化

- ・防災ホームページのアクセス集中対策
- ・スマートフォン専用ホームページなど、効果的な情報伝達手段の導入
- ・避難情報以外の関連情報の提供拡充

#### 3 最大規模の水害に備えた避難の在り方の検討及び市民への周知・理解促進

- ・信濃川の氾濫による最大級の災害も想定し、避難場所や避難情報の提供の在り方を検討
- ・今年度中に改訂するハザードマップを活用した避難行動への理解促進

※現在、全庁的に今回の災害対応における課題の抽出と対応策について、検証中です。まとめ次第、より詳細な事項についても見直す予定です。